	メリット	デメリット
小規模校化	<p>子ども・保護者の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人間関係が深まりやすい ●一人ひとりがリーダーを務める機会が多くなる ●異学年間の交流が生まれやすい ●教員の目が届きやすい <p>教員の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教員間の意思疎通が図りやすい ●保護者や地域社会との連携が図りやすい ●施設を余裕を持って使える 	<p>子ども・保護者の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様な集団づくりがしにくい ●多様な考え方に接し、学び合いや切磋琢磨する機会が少ない ●活気が生じにくく活動内容選択に制約が生じる <p>教員の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教員の仕事量が多くなる ●人材育成や体制づくりが難しい ●多様な学習形態・指導形態がとりにくい
大規模校化	<p>子ども・保護者の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様な集団の形成がされやすい ●社会性や協調性等が育まれやすい ●活気が生じやすく、活動内容選択の幅が広がる <p>教員の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バランスのとれた教員配置を行いやすい（ベテランと若手等） ●指導技術の伝達がしやすい ●多様な指導形態をとりやすい 	<p>子ども・保護者の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●きめ細かな指導が受けにくい ●学年間・異学年間の交流が不十分になりやすい ●一人ひとりの活躍の機会が限られる <p>教員の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●連絡調整が困難、管理職が組織マネジメントに時間をとられる ●施設・設備の制約が生じる ●保護者や地域社会との連携が図りにくい

参考：文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」（平成27年1月27日）